

株式会社ステムセル研究所

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2026年8月6日

01 – 決算概況

02 – 成長戦略

決算概況

国内事業は増収・増益、保管検体数も増加／東南アジア事業は営業開始に向けた基盤整備が進展

KPIハイライト

国内売上高



前年同期比 **+3%**

国内営業利益



前年同期比 **+41%**

保管検体数



前年同期比 **+2.8%**

国内事業



保管料 5 年分無料キャンペーンを継続し、
新プラン「HOPECELL」の浸透を推進
あわせて一括払い割引を拡充し、
長期保管・上位プランを選びやすい料金体系へ改定



産科施設との連携強化に向け、**重点施設への深耕と新規開拓**を軸に**営業体制を再構築**
第 1 四半期にマタニティイベント 3 件へ出展し、
妊婦との直接接点を拡大



提携医療機関を拡大し、
「ファミリー上清®」を**神経再生領域へ展開**

東南アジア事業



シンガポールにおいて、
細胞処理センター・細胞保管センターが完成
日本国内で培った
品質管理・保管ノウハウの現地移管を推進



事業開始に必要な**ライセンス取得手続き**を推進



現地での人員・業務フロー・運営体制を整備し、
インドネシア・ベトナムへの展開準備も進行
シンガポールを起点とした東南アジア展開に向け、
事業基盤を整備

（単位：百万円）

	2027/03期 1 Q	構成比
売上高	722	100.0%
売上総利益	423	58.6%
販売費及び一般管理費	382	53.0%
営業利益	40	5.7%
営業外損益	2	0.3%
経常利益	43	6.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	35	5.0%
1 株当たり 四半期純利益(円)	3.57	—

前年同期比

2026年 3 月期第 1 四半期は単体決算のため、
前年同期の連結数値との比較なし

営業利益

シンガポールでの営業開始に向けた人員・体制整備、
賃上げおよび経営体制強化等の先行投資を継続

（国内／海外の内訳）

国内 **92**百万円 / 海外 △**51**百万円

通期業績予想

2026年 5 月13日に公表した
2027年 3 月期の連結業績予想から変更なし

（単位：百万円）

	国内 / 海外	2026/03期 1 Q	2027/03期 1 Q	前年同期比
売上高	国内	700	722	+ 3.0%
	海外	—	—	—
営業利益	国内	65	92	+ 41.0%
	海外	—	△51	—

※当社グループは単一セグメントですが、参考情報として国内・海外の内訳を記載しています。
※百万円未満を切り捨てて表示しているため、内訳の合計は連結数値と一致しておりません。
増減率は千円単位の実績に基づき算出しています。

通期連結業績予想に対する進捗



売上高

通期予想
3,100百万円
国内3,000／
海外100(4Q見込み)

23.3 % / 25.0%

1 Q進捗率 / 1 Q基準（25.0%）



営業利益

通期予想
100百万円

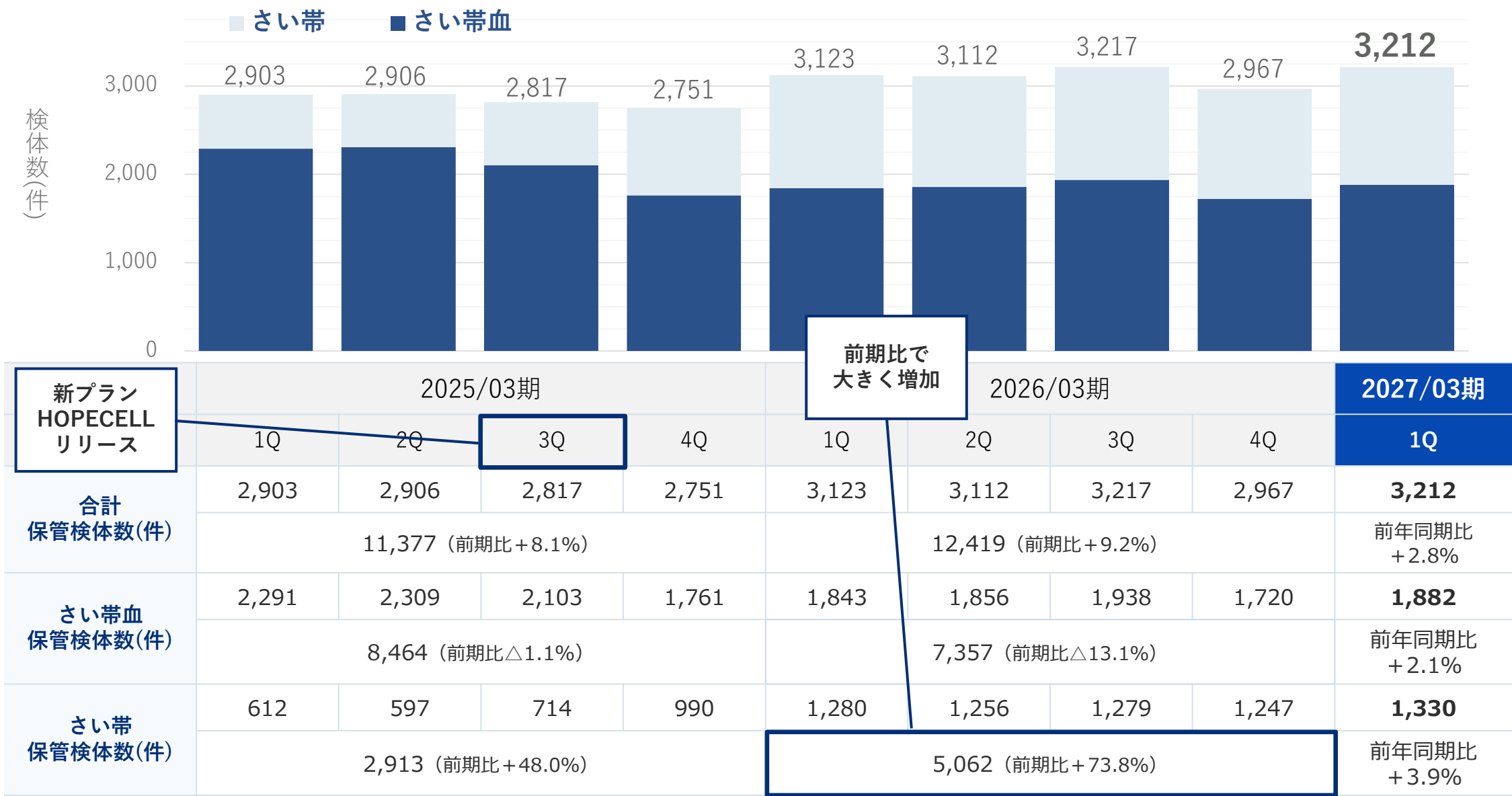
41.0 % / 25.0%

1 Q進捗率 / 1 Q基準（25.0%）

※ 1 Q進捗率は千円単位の連結実績に基づき算出しています。

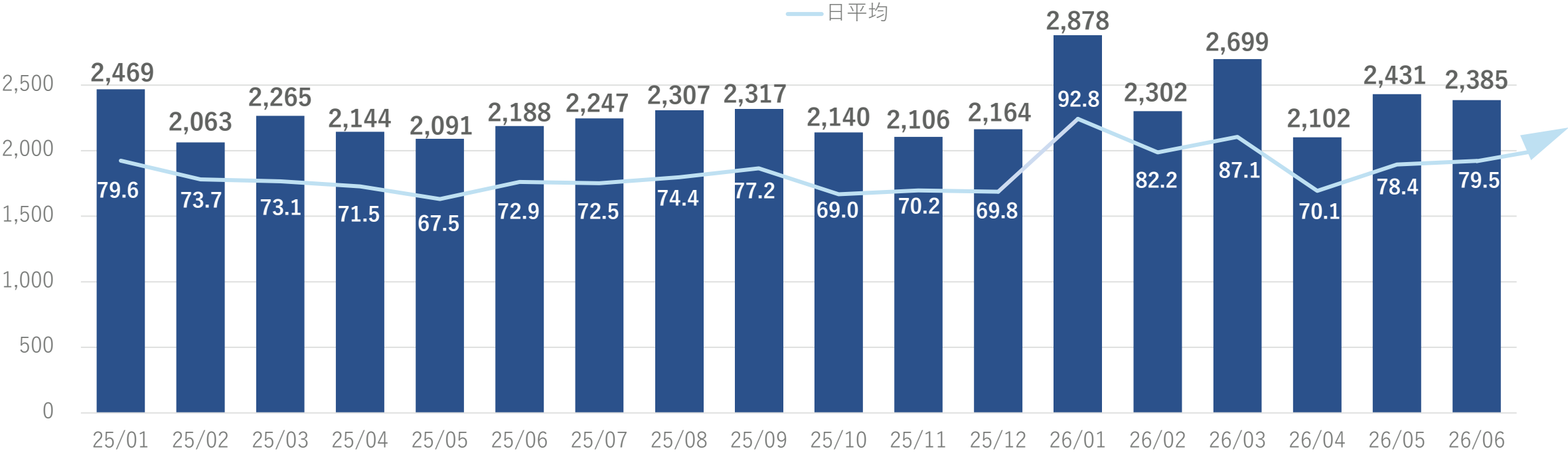
国内事業の体制を強化しつつ、
将来の柱となる海外事業への先行投資に集中

決算概況 / 検体数の実績



資料請求数

※該当月に当社サービスに興味を持ち、資料を請求した見込み顧客の総数



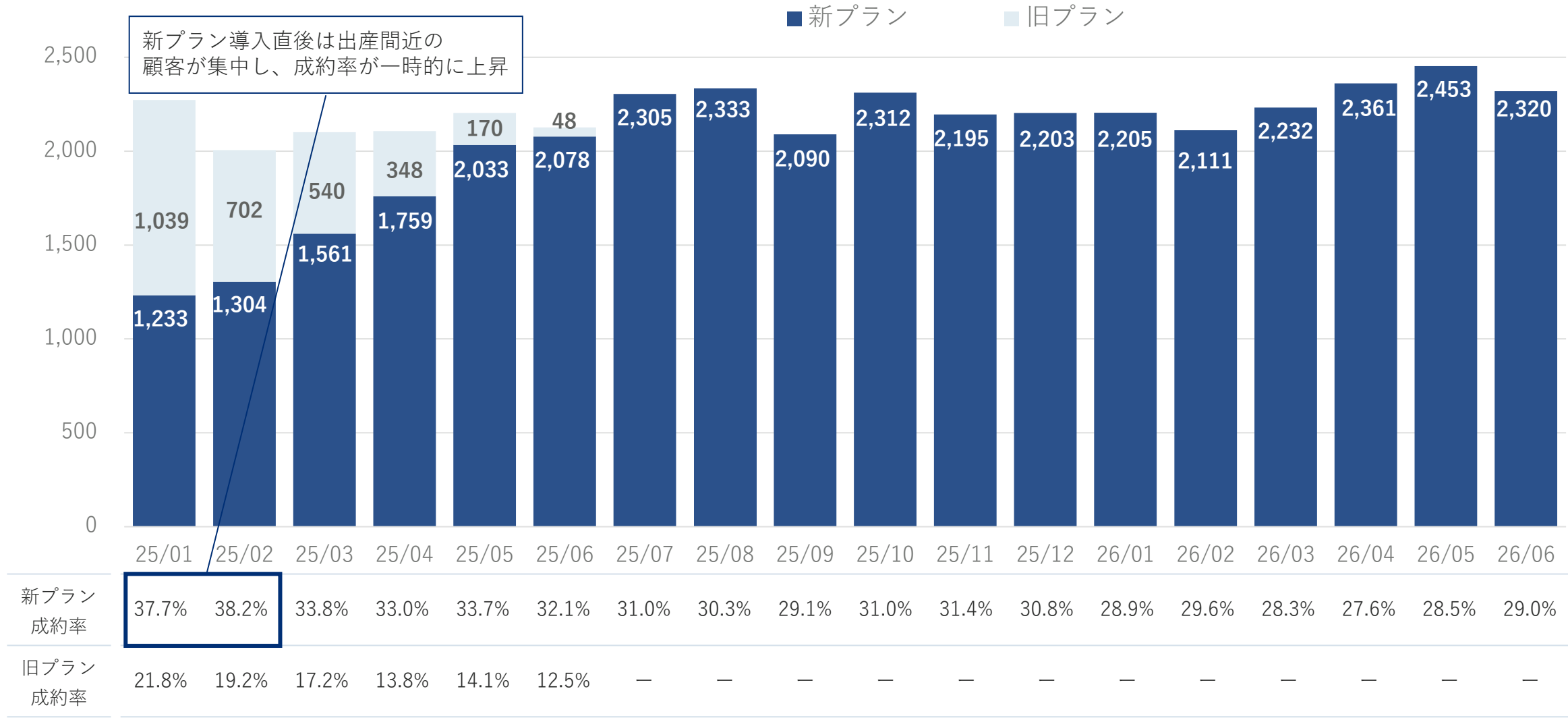
広告代理店の変更、
マーケティングの再構築

12/19～3/31において
最大66,000円分の
保管料無料キャンペーンを実施
資料請求数急伸

好評につき、6/30まで
最大66,000円分の
保管料無料キャンペーンを延長

各月の出産予定者数と成約率

※該当月に出産予定日を迎える契約検討中または既契約の顧客の総数



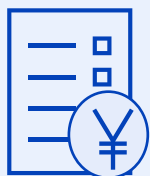
成長戦略

国内事業の収益基盤を強化し、持続的な保管件数の拡大へ

国内成長を支える3つの重点施策

料金体系の柔軟性を高める

- 一括払いは、**長期保管・上位プラン**ほど、**割引額を強化**
- 分割払いは、**最大120回まで・手数料無料**で提供



多様な支払ニーズに対応

保管する価値を高める

- さい帯血では、**脳性まひ・ASD等**の既存の臨床研究を継続して推進
- さい帯では、「ファミリー上清®」を**神経再生領域へ展開**



さい帯血・さい帯の
活用機会を拡大

顧客へ届ける力を高める

- 産科施設との連携強化に向け、営業体制を再構築し、**重点施設への深耕と新規開拓**を推進
- **マタニティイベントへ継続出展**し、2026年9月から11月に全国6件の大型イベントへ出展予定



産科施設と妊婦の
双方との接点を強化

シンガポールに、日本国内で培った品質管理・保管ノウハウを活かした「細胞処理センター・細胞保管センター」が完成



2023年竣工、BCAグリーンマーク・プラチナ認証を取得した「Mapletree Hi-Tech Park」内に、約450㎡の施設を整備



細胞の処理から長期保管まで対応する設備を設置し、高い品質管理体制を構築



日本国内で培った品質管理・保管ノウハウを活かし、東南アジア事業の中核拠点を整備

施設の主な特徴・設備と機能



高い品質管理環境

- ・ ISO基準に基づくクリーンルームを設置
- ・ 微粒子・微生物を管理し、交差汚染リスクを低減



24時間の監視体制

- ・ 温度・湿度・液体窒素残量等を常時監視
- ・ 日本国内の施設でも導入している「SMARTDAC+®」により、異常を即時検知



安定した保管環境

- ・ 液体窒素タンクによる長期安定保管
- ・ 独立した2つの監視系統によるバックアップ体制を整備



データ管理・BCPへの対応

- ・ 検体管理をデジタル化し、トレーサビリティを強化
- ・ 自家発電設備・無停電電源装置（UPS）を整備



完工したシンガポールの細胞処理センター・細胞保管センター



上：細胞処理エリア 下：細胞保管エリア

営業開始に向けた最終準備を推進／東南アジアへの段階的な展開へ

営業開始に向けた進捗



01 施設完成

完了

細胞処理センター・細胞保管センターが完成



02 ライセンス取得手続き

進行中

関係当局への申請手続きを実施
営業開始に向けたライセンス申請を推進

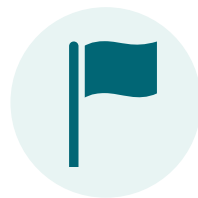


03 技術移管・運営準備

進行中

現地技術者の採用を完了し、技術研修を実施

- ・ 日本の品質管理基準・業務手順を現地へ移管
- ・ 細胞処理・保管設備の運用訓練を推進



04 営業開始

2026年9月頃予定

ライセンス取得後、
速やかに営業を開始できる体制を整備

営業開始時期の見通し

当初予定 2026年6月



2026年9月頃予定

営業開始に必要な行政手続きの確認・対応に時間を要したため、開始時期を当初予定から見直し。施設・設備の品質や安全性に関する問題はなし。

ライセンス取得時期の変動を計画に織り込み済みのため
2027年3月期 通期連結業績予想に変更なし

東南アジアへの展開準備



シンガポール

東南アジア事業の中核拠点

- ・ 細胞処理・保管施設が完成
- ・ 許認可取得と運営体制の整備を推進

インドネシア・ベトナム

シンガポールを起点とした事業展開に向け現地パートナーと具体的に交渉中

国内事業の成長と東南アジア市場の開拓を 2 つの柱に、
中長期的な企業価値向上へ

（単位：百万円）

	連結/国内 /海外	2026/03 (実績)	2027/03	2028/03	2029/03	2030/03
売上高	連結	2,811	3,100	3,800	4,600	5,500
	国内	2,811	3,000	3,300	3,600	4,000
	海外	—	100	500	1,000	1,500
営業利益	連結	202	100	429	740	1,000
	国内	266	300	429	540	625
	海外	△63	△200	0	200	375
営業利益率	連結	7.2%	3.2%	11.3%	16.1%	18.2%

2030年 3 月期 連結目標



将来見通しに関する注意事項

- 本資料は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。
これらは、現在における予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
それらのリスクや不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済情勢が含まれております。
- 本資料の当社以外に関する情報は、一般的に公知と考えられるものに基づいております。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の勧誘行為を行うためのものではありません。

株式会社ステムセル研究所

stemcell
INSTITUTE

ステムセル研究所